

立教大学ジェンダーフォーラム主催 第73回ジェンダーセッション

性風俗で働く人々と 「女性自立支援」

講師の要友紀子さんは、「セックスワーカー」の安全と健康のために活動するグループ・SWASH (Sex Work And Sexual Health) メンバーとして、これまで、風俗嬢意識調査や、「セックスワーカー」向けに HIV/STD 予防のための講習会やパンフレットの配布などを行ってきました。近年では、日本で働く外国人「セックスワーカー」の調査とアウトリーチを行ない、移住労働の「セックスワーカー」の抱える問題にも取り組んできました。

風俗産業の是非や売春をめぐる、フェミニズムやジェンダー研究のあいだにはさまざまな意見があり、研究者や運動家のあいだにも、広く国際社会にも、「合法化」「犯罪化」「非犯罪化」というように、性風俗産業をとらえる立場は複数あります。性や性産業の問題は、当該の経済や社会のあり方、私たちの人権や生存に深くかかわっています。それだけに、さまざまな文脈で議論がなされ、多様な課題を喚起するテーマとなっています。

今回のジェンダーセッションでは、女性とマイノリティに対する差別と暴力の問題を要さんとともに支援の現場から考えます。

講師 要友紀子
(SWASH 代表)



1976 年生まれ。SWASH メンバーとして、1999 年から活動。主な著作は、『風俗嬢意識調査～ 126 人の職業意識～』（水島希との共著・ポット出版、2005 年）、『売る売らないはワタシが決める』（共著・ポット出版、2000 年）、『性を再考する』（共著・青弓社、2003 年）、『『オネエ』がメディアにモテる理由』（藤井誠二編・春秋社、2013 年）など。

2017 年

12/11 (月)

18:30 ~ 20:00

11 号館 2 階 A203 教室
立教大学池袋キャンパス

入場無料
申込不要

お子様を連れてご参加を希望される方は事務局にご相談ください

主催・お問い合わせ先 立教大学ジェンダーフォーラム
TEL/FAX: 03-3985-2307 E-mail: gender@rikkyo.ac.jp
<http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/gender/>